

USBメモリは便利ですが、注意が必要！

USBメモリは、データを持ち運ぶのに便利な道具です

たとえば、会議資料やプレゼンデータを移すときに使われます
でも、使い方を間違えると「**情報漏えい**」や「**ウイルス感染**」の原因になります
会社の大切な情報を守るために、正しく使うことが大事です



IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）の情報セキュリティ教材
動画「華麗なる情報セキュリティ対策 #5『USBメモリ等の取扱いの注意』」
も参考にしてください。

https://www.youtube.com/watch?v=HPgg8vQisgo&list=PLi57U_f9scIJJPYjMPHEFq7swlnhwOFsb&index=5

こんな使い方は危険！

事例①：個人のUSBメモリを会社PCに差したら…

自宅で使っていたUSBメモリに、気づかないうちにウイルスが入っていた

→ 会社のPCに差した瞬間、社内ネットワークに感染が広がり、業務が一時停止

→ 数百万円の損害と、顧客への謝罪対応が発生



事例②：USBメモリを電車に置き忘れた！

営業先のプレゼン資料（顧客名・契約内容含む）を保存したUSBメモリを紛失

→ 拾った第三者が中身を閲覧できる状態だった

→ 情報漏えいとして報道され、会社の信用が大きく低下



事例③：退職者が業務データを持ち出し

退職前に私物のUSBメモリに業務データを保存

→ 転職先でそのデータを使ってしまい、競合とのトラブルに発展

→ 法的措置と損害賠償問題に発展



安全に使うためのポイント

USBメモリを安全に使うために、以下のポイントを守りましょう

- 会社支給のUSBメモリを使う

IT部門がウイルスチェック済み。使用履歴も管理されている

- 機密情報は必ず暗号化＋パスワード設定

例：顧客リストをExcelで保存する場合、「ファイルにパスワードを設定」
＋「パスワード付きUSB」



- 持ち歩くときは物理的な対策も忘れずに

ネックストラップ付きのケースに入れる／カバンの内ポケットに固定する

- 使用後は「安全な取り外し」を必ず実施 データ破損や未保存のトラブルを防ぐ

USBメモリを抜く前に、PC画面右下の『ハードウェアの安全な取り外し』をクリック

- 退職・異動時はUSBメモリの返却とデータ消去を徹底

IT部門が初期化・廃棄処理を行うことで、情報漏えいを防止

そのUSBメモリは大丈夫？

USBメモリは「便利」ですが、「危険」もあることを忘れずに

- 「ちょっとくらい大丈夫」が、会社全体の信用を失う原因になることもあります
- たとえば、1本のUSBメモリから社内ネットワーク全体にウイルスが広がることも…
- 会社の情報は、みんなで守るものです
- 迷ったら、先輩や情報システム部にすぐ相談しましょう！
- 情報セキュリティは、「意識」と「行動」が重要です

そのUSBメモリは大丈夫？

